

平成 29 年度 はるひ野保育園 事業報告書

【施設運営状況】

子どもたちのいきいきとした笑顔に溢れ、健やかな成長・発達を保障していける保育園であるよう努力してきました。

改訂された保育所保育指針の第5章にもあるように職員の質の向上には力を入れてきました。

園外の研修は延べで約160人が参加し、園内研修も定期的の実施しています。自ら学ぼうとする職員集団を目指してきました。

一時保育、地域子育て支援センターも地域の親子に喜ばれています。特に支援センターでは、保育園の行事(夏祭り・もちつき・移動動物園等)にも関わりが持っています。

月2回実践している出張支援には、支援センタースタッフだけでなく保育士も担当を決めて取り組んできました。地域の親子に喜ばれる内容の提供ができ、充実しています。

また、保育士の学びの場としても活用出来ており、地域支援への意識向上につながっています。

【職員の状況】

職 名	平成29年4月1日の職員数				年間退任・就任								平成30年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)									
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員		有期契約職員				計	正 規 職 員	有期契約職員			実 人 員 合 計	常 勤 換 算				
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B		就 任	退 任	契 約 職 員	非 常 勤		就 任			退 任	契 約 職 員	非 常 勤 A			非 常 勤 B	常 勤 換 算		
									就 任	退 任											就 任	退 任
園長	1				1												1	1				
主任	1				1												1	1				
保育士	17		1	5	23	2	6					1				9	18	1	8	27	19	
看護師	1				1												0		1		1	1
栄養士	1				1												1				1	1
調理員	1				1	1	1									1	1				1	1
調理補助	0				0												0				0	0
保育補助	0			3	3											2	2	0		2	2	0
事務員	1				1												1				1	1
嘱託医	0	1			0												0	1			1	0
計	23	1	1	8	32	3	6					2	2	12	23	1	2	10		36	25	

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

【利用者支援状況】

- ・ますます乳児の需要が高まる中で、状況に応じた職員体制や保育内容で子どもたちが安心して楽しく毎日を過ごせる環境づくりを心がけてきました。
- ・園外活動では季節を感じられる場所へ行き、自然の多い地域の良さを生かした保育を実施しています。また、園内外での人との交流の場も大切にしてきました。
- ・保護者対応は丁寧に行うことを常に意識し、日々の様子や成長を伝え、信頼関係を築くことを目指しました。必要なケースは専門機関と連携を図り、対応しました。
- ・幼児組では講師の先生を招いて体操・英語・リトミックを実施し、保護者の方にもとても喜ばれています。

【施設整備状況】

- ・指紋認証設置

【利用者状況推移】(各年度4月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
29年度	10	18	19	19	26	19	111
30年度	12	18	18	22	21	25	116

【主なできごと】

年間行事予定 別途添付

【その他について】

安全管理

- 防災訓練 毎月1回 避難訓練、消火訓練を実施しました。
- 健康管理 嘱託医による園児の健診、職員の定期診断及び職員の細菌検査を毎月実施しました。健康管理には最善の注意を払い、感染症については早急にお知らせを出しました。サーベランスも活用し保護者に地域で流行している感染症についても掲示しました。
- 衛生管理 おもちゃの消毒や室内の清掃、感染症の流行時には消毒を徹底しました。
- 安全管理 毎月1回チェックシートを活用して確認を行いました。

地域交流

- ・月2回、地域支援センタースタッフと保育士で出張支援を行い、地域の親子に楽しんでもらえる遊びの提供をしました。参加人数も多く喜ばれています。
- ・移動動物園には近くの保育室の園児たちや地域の方たちが参加し、在園児達と一緒に動物たちに触れ合う体験をしました。
- ・夏祭りは地域の方も大勢参加してもらっています。焼きそばやポップコーン・フライドポテトといった模擬店の他に人形劇や探検コーナー、ヨーヨーなどの遊びのお店も大人気です。

地域に「祭り」がない、新しい街だからこそ保育園の夏祭りが担う意味は大きいと感じています。

- ・お相撲さんとのもちつきも地域の方に喜ばれています。一緒におもちをついたり、お相撲さんに抱っこされて「無病息災」を願う体験をしてもらいました。

研修会実施状況

別途添付

事業苦情内容及び結果の公表

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝8:45頃保育園近くの陸橋付近に黒のワンボックスカーが駐車されている ・小学校の立ち番をしていたところ、いろどり公園近くに車を止め母親だけ保育園に送迎に行き父親がウロウロ待っていた。迷惑な止め方だと思っていたところ母親がもどってき車に乗ったら急発進した ・畑付近に青い車を駐車している人がいる、畑に園児らしき子が入って遊ぶ危険なのでやめて欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に掲示を出し、全体に注意を呼び掛けるナンバーの情報もあったため、該当者がすぐにわかり直接注意を行った ・畑に関しては時間や状況から保育園児ではない可能性が高く全体に掲示し、気をつけてもらい様子をみていたがその後は特に問題なし ・玄関に掲示を出した後、ナンバーも伝えられたため該当者がわかり直接注意を行った
2	<ul style="list-style-type: none"> ・4歳児女児両親より本児が他児にひっかかれた登園時間帯に「いじめ」のような暴力で関わっている子どもたちの姿がみられる 職員はそうしたことに放置している状況がある けんかは全て未然に防いで欲しい ・6/30苦情ケース母親より相変わらず本児の小さい怪我が多い、早朝時や延長保育時は保育士を増員して欲しい 川崎市の基準の人数をおいているなら川崎市基準の変更を訴えるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入児の保護者であるため、送迎時には丁寧にコミュニケーションを取るよう改善、保育のあり方は全職員で見直しを行った ・川崎市の基準の変更はできないが丁寧な保育を心掛けることを伝える 本児には日中、担任が常に目を離さず対応、本児から他児に手を出している状況も伝えていくようにした